ジャーナリスト
関口威人が行く

「名古屋市長 会見中に倒れる」の一部始終

翌日に公務復帰も６月の休みはたった１日

定例会見中に倒れ込み、市幹部に抱えられる広沢一郎市長＝６月30日、筆者撮影

名古屋市の広沢一郎市長が６月30日、市役所での定例会見中に体調を崩して倒れ込んだ。意識はあり、駆け付けた救急隊員によって病院へ搬送。検査の結果、ヘモグロビンの値がやや低かったが、頭や心臓に問題はなかったとして翌日には公務に復帰した。現場で一部始終を目の当たりにした筆者にとっても、激務とされる首長の健康管理や働き方について考えさせられる事態だった。

◆ 市立小教員の盗撮事件に質問集中 ◆

広沢市長はこの日、いつものように午前10時半から市役所２階の会議室に現れ、市政記者クラブ主催の定例記者会見に臨んだ。筆者は河村たかし前市長時代の2009年からフリーランスとして記者会見に参加し、2019年からはヤフーニュース（正確にはヤフーニュースの動画部門である「THE PAGE（ザ・ページ）」のYouTubeチャンネル）向けに会見生中継を行ってきた。

撮影・録音はカメラマンが担当し、筆者は手を挙げて市長に質問をすることも多かったが、ここ半年はカメラマンの体調不良もあり、筆者自身がカメラを回している。この日もソニーの業務用ムービーカメラで広沢市長の「入り」から押さえ、発表事項や記者との質疑応答を「Live U」という通信機材を通し、東京のヤフーニュース編集部を経由してYouTube配信した。生での視聴者は河村前市長時代に多いときで1000人以上となることもあったが、この日は200人ほどで、広沢市長会見としては多い方だった。

市政課題に関してはちょうど前週、市立小学校の教員らが児童の盗撮画像をSNSで共有していたという前代未聞の事件が発覚。質疑はこの事件について集中した。広沢市長は「市民の皆さんに大変な心配と不安をおかけしたことをあらためておわびしたい」と陳謝した上で、他施設で同様の事案がないか第三者委員会を立ち上げるなどして調査する意向を示した。